

サクランボ特報

No.5

令和8年6月16日

JA中野市園芸課

JA中野市サクランボ部会

収穫終了後は、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、梅雨明け以降は、気温の上昇とともにハダニ類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。

雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として

- ① 収穫終了後すみやかに被覆を除去 ② 定期的な灌水 を実施して下さい。

1. 薬剤散布 *隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

収穫終了後の散布（7月上～中旬）対象病虫害：灰星病、炭疽病、幼果菌核病、褐色せん孔病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ、ハマキムシ類、ナミハダニ類、アメリカシロヒトリ

| 散布時期 | ・7月上中旬 収穫終了 直後 | |
|------|---|--------------------------------|
| 散布薬剤 | 水100ℓ当り | 【定期散布】散布日 ____月 ____日(____) |
| | | 散布量____ℓ |
| | 展着剤（ハイテンパワー） | 10ml |
| | トレノックスフロアブル | 200ml（21日前、5回） |
| | エコマイト顆粒水和剤 | 50g（前日、1回） |
| | ⑧ダイアジノン水和剤 34 | 100g（14日前、2回） |
| 散布量 | 600ℓ / 10a | |
| 注意事項 | 【ドリフト注意】 エコマイト顆粒水和剤は、りんご・おうとう・なし・ぶどう以外登録がないので、他品目に飛散しないよう注意する。 | |

裏面も必ずご覧ください

対象病害虫：褐色せん孔病、ハダニ類、

| | | |
|------|--|---|
| 散布時期 | ・ 7月下旬 (前回から14日後) | |
| 散布薬剤 | 水100ℓ当り | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【定期散布】 散布日 ____月 ____日(____) </div> 散布量 _____ ℓ |
| | 展着剤 (ハイテンパワー) | 10ml |
| | ダニオーテフロアブル | 50ml (前日、1回) |
| | トレノックスフロアブル | 200ml (21日前、5回) |
| 散布量 | 600ℓ / 10a | |
| 注意事項 | ①ダニオーテフロアブルの散布は銅剤 (オキシラン水和剤など) 散布後45日以降に行う。 ②ケムシ類 (アメリカシロヒトリ) の発生がある場合は、第9回のサムコルフロアブル10を前倒して散布する。 | |

2 収穫終了後の管理

- ・ 次年度の健全な花芽充実のため、夏季剪定を実施してください。
- 次年に着果させたい花芽に光を当てて充実させる。この時期は樹冠内部の枝の重なりや暗い部分がわかりやすい。
- ・ 葉上げを実施した園地は、直ちに葉上げを解除する。
(光合成促進、ハダニ対策)
- ・ かん水 (樹勢回復、双子果対策)
- ・ 礼肥に、天然ボカシ肥を10a当たり5袋施用する。
- ・ 収穫直後の防除 (ここに葉面散布資材「ビビッドグリーン」の500倍または、「オルガミン」の1,000倍を加用する)

問合せ先：園芸課・担当 畑 (080-6325-1639)

栽培日誌の提出をお願いします。